

第6回廃棄物処理検討委員会での意見も含めたものに変更しました

個別取り組み検討シート② 委員意見一覧

シートNo.	3
施策1	ごみを出さないライフスタイルの普及（ごみの発生抑制）
取り組み	（3）環境教育、意識啓発の推進
A	事業
	①環境教育の充実
B	取り組み内容
	出前講座（ごみの発生抑制等）の利用促進
C	H29.4 方針
	推進
D	進捗状況
	<ul style="list-style-type: none"> ●宮代町の出前講座のメニューには入っていない。 ●久喜市の出前講座のメニューには、座学 ver.と施設見学 ver.があり。 <p>【実施状況】 平成30年度 みやしろ大学 「げんりょう化（原料・減量）大作戦」 参加者数 148人 ※衛生組合へ直接依頼</p>
E	効果、課題・問題点
	●町、衛生組合において出前講座のメニューとして制度化をしていない。
F	R5.4 方針（案）
	推進
G	見直し（案）
	●町の出前講座のメニューとして制度化する。

●ごみに対する意識の啓発を目的とした出前講座（※）について、どのような内容であれば利用したいと思いますか。

例）分別を間違いやすいごみについて学びたい。ごみを出した後の行方を学びたい。映像を見ながら学びたい。

委員からの意見

- ごみ減量のための循環型社会を考える
- 最終処分場の状況、廃棄物排出量の現状
- YouTube 等の利用
 - ・ライフスタイルの変化
 - ・減量化の具体的内容
 - ・究極のごみ減量化
- 自分たちが出したごみのルート、処理方法、費用が分かる内容
 - ※個人（世帯）単位で分かりやすく解説
- 焼却処理で、熱エネルギーとして回収される考え方の解説

裏面に続きます

委員からの意見（表面の続き）

- 資源として収集されたものが、どのようにリサイクルされて、市場に出ているのか
- 使い終わった家電がどこに運ばれて、どのように処理、あるいはリサイクルをされているのかを知る
- 若い世代はアルバイトの経験から食品ロスに関心が高いため、その視点をきっかけに興味を持ってもらう内容
- 町内会の草刈りで出た草を米ぬかで堆肥化するが、そのように体験を兼ねた講座
- 最終処分場の話と絡めての生態系への影響を考える講座
- 資源ごみの有償、逆有償の内容。大きな数字ではなく、身近に感じられる小さな数字でリサイクルへの意識を高める

新規の取り組み内容のアイデア

シートNo.	新規
施策1	ごみを出さないライフスタイルの普及（ごみの発生抑制）
取り組み	（3）環境教育、意識啓発の推進

委員からの意見

- 専門家による講座やセミナーの開催
※地区代表が1～2名ほど参加
- ワークショップの開催「みんなで考えるごみ減量化」
※内容案
 - ・個人で出来ること
 - ・地域で出来ること
 - ・行政で出来ること
- ごみ分別体験や環境クイズなど正しい知識と理解を得る機会の提供
- パネル展示